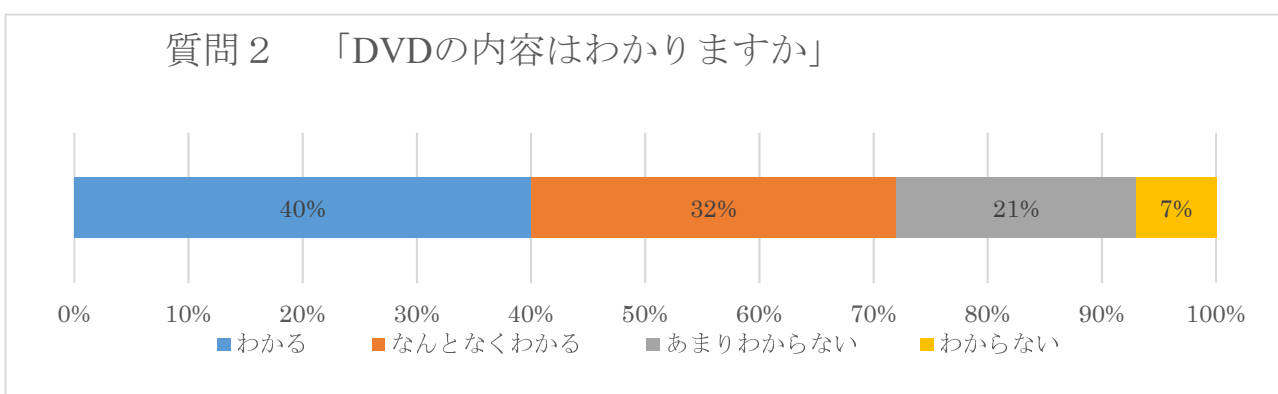
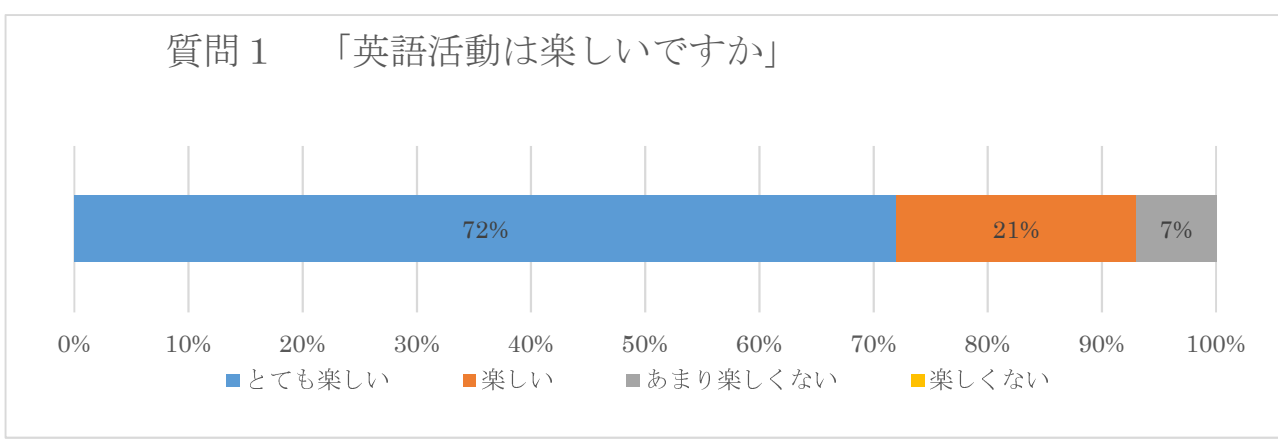


令和5年度特別の教育課程の実施状況等について

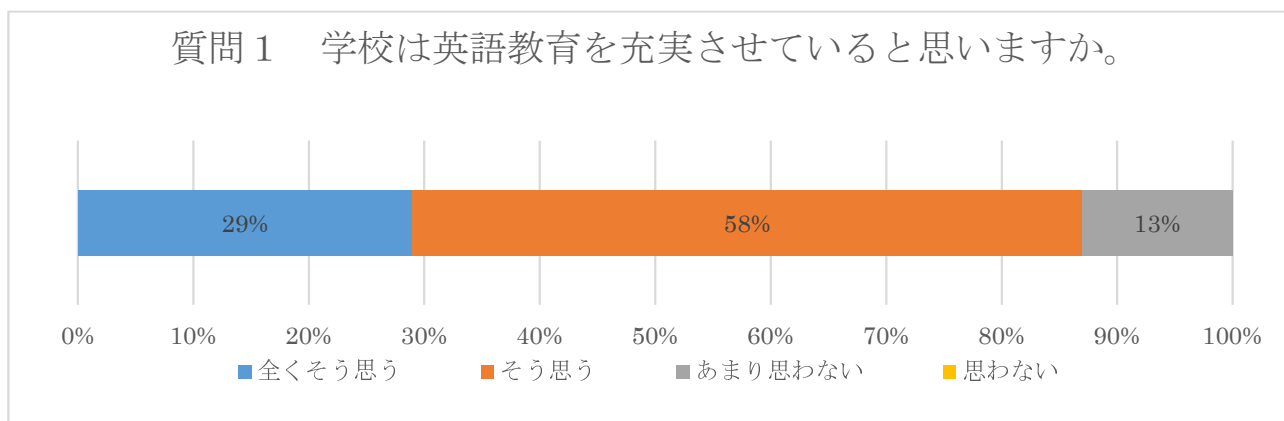
1 自己評価結果

令和5年度の1年生から4年生の児童に、アンケートを行ったところ、質問1「英語の授業や、お昼の英語のDVDをみることは楽しいですか」に対して、「楽しい」、「とても楽しい」と回答した児童は、全体の93%でした。「あまり楽しくない」と回答した児童は7%でした。質問2「DVDの内容はわかりますか。」に対して、「わかる」、「なんとなくわかる」と回答した児童は、全体の72%でした。アンケートの質問1の結果から、多くの児童は、毎日の英語活動で英語の発音に触れる機会が増え、動作化などの体を使った学びを行うことで、英語に対する親しみが増し、活動に楽しさを感じていることがわかります。しかし、アンケートの質問2の結果からは、すべての児童が内容を理解しているわけではないことがわかります。内容がよくわかればさらに英語が身近なものとなり、ネイティブスピーカーの英語により慣れ親しむことができます。DVDを視聴する中で、児童の発達段階や実態にあわせて、内容のわかりにくい部分で補足説明を行うなどの教師支援を工夫し、話の内容もあわせて理解できるようにしたいと考えています。



2 学校関係者評価結果

令和5年度の保護者へのアンケートを行い、質問1「学校は英語教育を充実させていると思いますか」に対して、「全くそう思う」「そう思う」と全体の87%の保護者の方が回答し、多くの保護者の方に学校の英語教育への取り組みについて、御理解をいただいています。また、児童の英語活動の様子を見ていただいた、学校評議員の方々からは、英語活動に対して、「子供たちがよい発音で話している」「10分という短い時間だが毎日継続してやっているのがよい」「リズムに乗って英語の歌を楽しく歌っている」と好意的な声をいただいております。日々の英語活動によって児童が英語に慣れ親しみ、英語に対する関心を高めていることを評価していただいております。



3 まとめ

児童のアンケートからは、DVDを用いた英語活動を毎日、継続的に積み重ねることで、児童が英語を楽しいものだととらえ、かつ英語の理解を深ようとしていることが分かります。少しずつですが、基本的な英会話を自然と口にすることができるようになってきました。

今後も、「世界の人と英語で話したい」「英語の歌を歌ってみたい」というような、主体的に英語学習を進めることができる児童の育成を目指して、英語活動に力を注いで参ります。